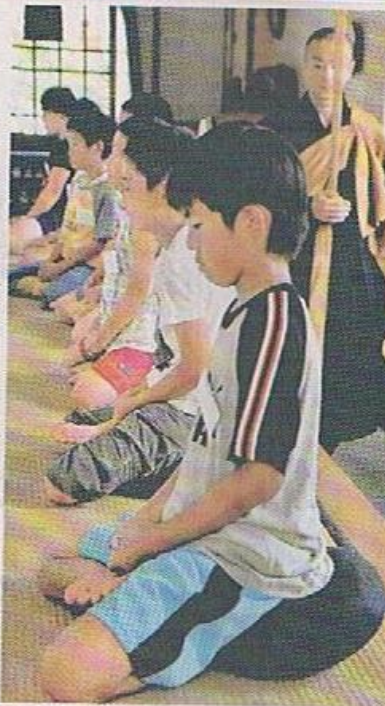


仁叟寺で座禅を組み、精神を集中させる児童



静寂に包まれ 座禅で精神統一

高崎・仁叟寺

禅に身近に親しんでもらおうと、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)で30、31の両日、「子供禅の集い」が行われた。児童約50人が、1泊2日の修行を体験した。集いは夏休み期間中の小学生を対象に毎年開か

を通じて、規則正しい生活習慣を身に付ける。

初日は20分間の座禅に挑戦し、児童は足を組ん

本堂に泊まり 礼儀作法学ぶ

高崎・善龍寺

小学生が座禅や読経などお寺の生活を体験する。2日間で4回の座禅を行ったほか、般若心経の朗読にも挑戦した。牛原の曹洞宗清行山善龍寺(大木謙哉住職)で開かれ、43人の児童が参加した。旧群馬郡の曹洞宗寺院と笑顔を見せた。

夏休み「一休さん」体験

で精神を集中させた。静寂に包まれた座禅室には、警策を打つ音やセミの鳴き声が響き渡っていた。

高崎吉井小4年の新井爽太君(10)は「足がしびれ、1時間以上に感じた」と額に汗を浮かべながら話した。

読経や掃除 「少し緊張」

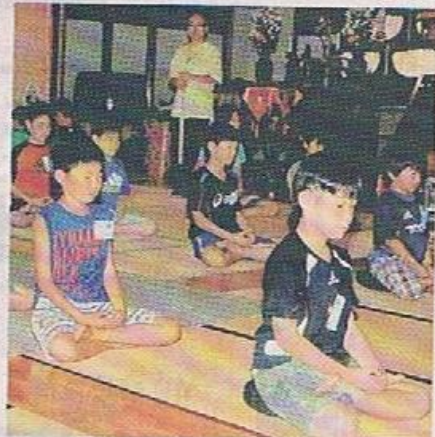
安中・久昌寺

児童が寺の生活を泊ま



久昌寺境内で流しそうめんを楽しむ児童

り込みで体験する「一日一休さん」が30、31の両日、安中市原市の久昌寺(久保直彦住職)で行われた。50人が掃除や座禅



善龍寺で座禅を組む児童

日常生活で味わえない寺での習慣や作法を学び、夏休みでもめりはりのある生活を送ってほしいと毎年行っている。児童は3班に分かれ、掃除や読経、座禅など寺ならではの体験をした。安中市小6年の浦野桜汰朗君は「座禅は足がしびれて大変。お寺の雰囲気は少し緊張した」と話した。